

生活習慣改善の取組み継続に向けた共同研究への参加について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、株式会社F i N C（代表取締役社長 溝口 勇児、以下F i N C）と共同で、国民の生活習慣改善の取組み継続に資する研究を開始することに合意しました。

当社は2016年4月に新設したイノベーション推進準備室を中心として、今後もイノベーションの創出に取り組んでいきます。

1. 共同研究の意義

生活習慣病は健康寿命の最大の阻害要因であるとともに、国民医療費にも大きな影響を与えています。生活習慣病の予防や健康寿命の延伸には生活習慣改善の取組みを継続していくことが重要であると考えられるものの、取組みの継続が与える影響に着目した研究は少ないことから、本共同研究は生活習慣病の予防や医療費抑制の観点からも大変意義のある取組みであると考えています。

2. 共同研究の概要

明治安田生命およびF i N Cは、明治安田生命健康保険組合が開催する生活習慣改善キャンペーンに参加する従業員約2万人を対象として、2016年10月から1年間にわたり、生活習慣改善のための行動変容要因を分析する共同研究を行ないます。

対象者の一部には、心拍数や睡眠時間が計測可能なウェアラブル端末を配布するとともに、F i N Cの提供する生活習慣改善プログラム「F i N Cプラス」(※)を導入します。

従業員のウェアラブル端末および「F i N Cプラス」の継続利用状況や生活習慣改善の行動変容について、非対象者との対比等による分析を行なうとともに、活動データと生活習慣病との因果関係についての分析を行ない、新たなヘルスケアサービスや保険事業へ応用していきます。

具体的には、企業の従業員等の生活習慣病の予防・改善など、継続的な健康増進に向けたサービスの提供、新たな保険商品の開発などをめざしていきます。

また、本共同研究を基礎としてF i N Cとの新たなヘルスケアサービスの開発を視野にいたした検討も行っていきます。

(※)「F i N Cプラス」

利用者一人ひとりに合った食事・運動の生活習慣を改善するプログラムをスマートフォンアプリで提供するとともに、ヘルスケア領域の専門家に24時間の健康相談を受けることが可能なサービス。チャットで健康増進の取組みを支援するパーソナルコーチ機能も利用可能

以上

【株式会社 F i N C 概要】

「継続を科学する」モバイルヘルスに特化したテクノロジーベンチャー

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| 社名  | 株式会社 F i N C                |
| 所在地 | 東京都千代田区有楽町1丁目12-1 新有楽町ビル 5階 |
| 設立  | 2012年4月11日                  |
| 代表  | 溝口 勇児                       |
| 資本金 | 1,558百万円（資本準備金含む）           |